

**実践事例**

高等部／領域・教科を合わせた指導：作業学習（メンテナンス作業、喫茶サービス作業）

『自分の作業を振り返り、視点に沿って目標を振り返ったり課題解決の方法を考えたりして作業をしよう』

**1. 生徒の実態と望む姿**

- ・高等部2年、男子生徒
- ・メンテナンス作業では、必要な資機材の準備や、資機材の基本的な持ち方や動かし方を理解して作業する。
- ・喫茶サービス作業では、キッチン、ホール担当の接客の流れや後払い制、テイクアウト制などの仕組みを理解して作業する。
- ・毎回同じめあてを立てることが多く、具体的にどのように作業に取り組むかが書けていない。

そこで、本学習グループの作業学習では、以下の望む姿を設定した。

- ・課題を解決するための方法を考えたり、課題に応じた具体的なめあてを立てたりできるようになってほしい
- ※課題とは、作業を行った後に自分の取り組みを振り返り、十分にできなかったことで、改善が必要な点のこと

**2. 授業のポイント**

**ポイント1 自分の作業を振り返り、課題解決の方法を考えるための作業日誌の工夫**

《どのような作業日誌の形式にするとよいのかな？》

- 作業の目標を立てるときに頭の中で考えることを「見える化」する
- ・自分で仕事のでき具合を振り返るときの頭の中で考える手順
  - ①めあてを決める
  - ②作業後に、自分の仕事について振り返る
  - ③事前に考えためあてと自分の仕事具合を比べる
  - ④次回、できるようになるとよいことを決める
- 手順に対応した項目の振り返りシートを作成する

作業日誌 月 日 ( )

めあてとめあての反省 ○できた △もう少し Xできなかった

めあて①	
◆振り返り	自己評価
◆次回のめあて	
◆担当より	担当者評価

《振り返る視点がわかるためにはどうすればよいのかな？》

- 振り返る視点を生徒の実態に応じてわかりやすい方法で伝える
  - ・文字で知らせる
  - ・言葉で知らせる 等
- 対象生徒の場合は、『どこがよかったのか』『なぜできなかったのか』の視点で振り返るようにした

《どのような振り返り方をするとよいのかな？》

- 生徒の実態に応じてわかりやすい方法で振り返る
  - 動画をみる、写真を見る、友だちに意見をもらう、教師から意見をもらうなど

授業構想チェックシート(作業学習) 意欲チェック 5学習環境:教具⑤⑥作業 P. 5参照  
6学習活動⑧⑨⑪⑫⑮⑲作業 P. 5参照  
7教師の働きかけ⑬⑭作業 P. 6参照

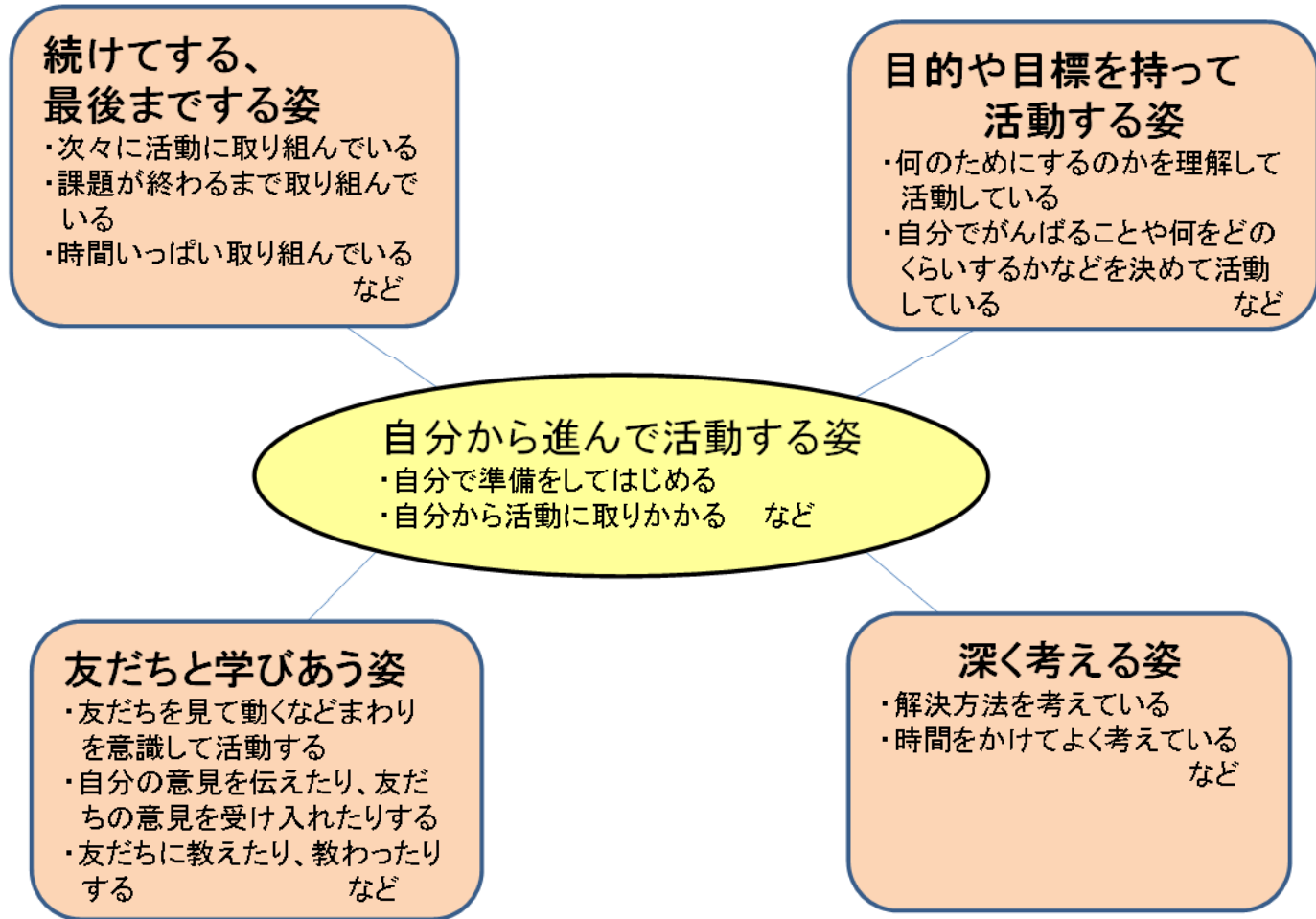
**ポイント2 いろいろな作業場面で具体的なめあてを自分で考えるための工夫**

《どうすればいろいろな作業場面で自分で考えることができるのかな？》

- 自分で振り返る仕方が定着・般化するように、同じ形式の作業日誌をすべての作業場面で使う
- 振り返りが定着するまで、全ての作業場面で、生徒にわかりやすい方法での振り返りと振り返りの視点を伝える

授業構想チェックシート(作業学習) 内容チェック 5学習環境:教具①②作業 P. 2参照  
7教師の働きかけ⑬⑭作業 P. 6参照

# 児童生徒が意欲的に取り組む姿



自分から進んで活動する姿を基盤にし、  
児童生徒一人一人のより意欲的な姿が現れる